

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（1998年7月31日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、高水準かつ安定的なインカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	EU加盟国の信用度の高い（A格以上）公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EU加盟諸国の信用度の高い公社債に投資を行います。</li> <li>・ソブリン債券を中心とした公社債からの長期的に安定した利子収入の確保とともに、信託財産の成長を目指します。</li> </ul>	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マザーファンドへの投資は、制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への実質投資は、制限を設けません。</li> </ul>
	マザーファンド	外貨建資産への投資は、制限を設けません。
分配方針	毎年1, 3, 5, 7, 9, 11月の5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

## ユーロ・ソブリン・オープン



第143期（決算日：2022年7月5日）  
 第144期（決算日：2022年9月5日）  
 第145期（決算日：2022年11月7日）



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「ユーロ・ソブリン・オープン」は、去る11月7日に第145期の決算を行いましたので、法令に基づいて第143期～第145期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近15期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE 欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分 配	込 み 金	期 騰 落	中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
131期(2020年7月6日)	5,914	30	7.0	664.58	6.9	95.9	—	1,277
132期(2020年9月7日)	6,141	30	4.3	694.48	4.5	96.8	—	1,321
133期(2020年11月5日)	6,026	30	△1.4	689.01	△0.8	97.6	—	1,294
134期(2021年1月5日)	6,177	30	3.0	713.58	3.6	96.5	—	1,325
135期(2021年3月5日)	6,099	30	△0.8	713.25	△0.0	96.0	—	1,295
136期(2021年5月6日)	6,099	30	0.5	715.38	0.3	98.0	—	1,276
137期(2021年7月5日)	6,108	30	0.6	724.03	1.2	97.4	—	1,274
138期(2021年9月6日)	6,061	30	△0.3	723.09	△0.1	98.0	—	1,207
139期(2021年11月5日)	6,034	15	△0.2	721.96	△0.2	98.2	—	1,178
140期(2022年1月5日)	5,929	15	△1.5	716.10	△0.8	96.8	—	1,146
141期(2022年3月7日)	5,547	15	△6.2	675.95	△5.6	94.8	—	1,064
142期(2022年5月6日)	5,538	15	0.1	674.84	△0.2	95.7	—	1,056
143期(2022年7月5日)	5,520	15	△0.1	674.77	△0.0	95.3	—	1,051
144期(2022年9月5日)	5,345	15	△2.9	655.57	△2.8	97.2	—	1,014
145期(2022年11月7日)	5,311	15	△0.4	647.57	△1.2	95.7	—	999

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) FTSE 欧州世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、欧州主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額比率で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		F T S E 欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第143期	(期 首) 2022年5月6日	円 5,538	% —	674.84	% —	% 95.7	% —
	5月末	5,529	△0.2	673.99	△0.1	95.9	—
	6月末	5,509	△0.5	677.00	0.3	96.8	—
	(期 末) 2022年7月5日	5,535	△0.1	674.77	△0.0	95.3	—
第144期	(期 首) 2022年7月5日	5,520	—	674.77	—	95.3	—
	7月末	5,579	1.1	676.89	0.3	95.5	—
	8月末	5,364	△2.8	650.56	△3.6	96.9	—
	(期 末) 2022年9月5日	5,360	△2.9	655.57	△2.8	97.2	—
第145期	(期 首) 2022年9月5日	5,345	—	655.57	—	97.2	—
	9月末	5,204	△2.6	625.13	△4.6	97.4	—
	10月末	5,458	2.1	664.03	1.3	96.3	—
	(期 末) 2022年11月7日	5,326	△0.4	647.57	△1.2	95.7	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

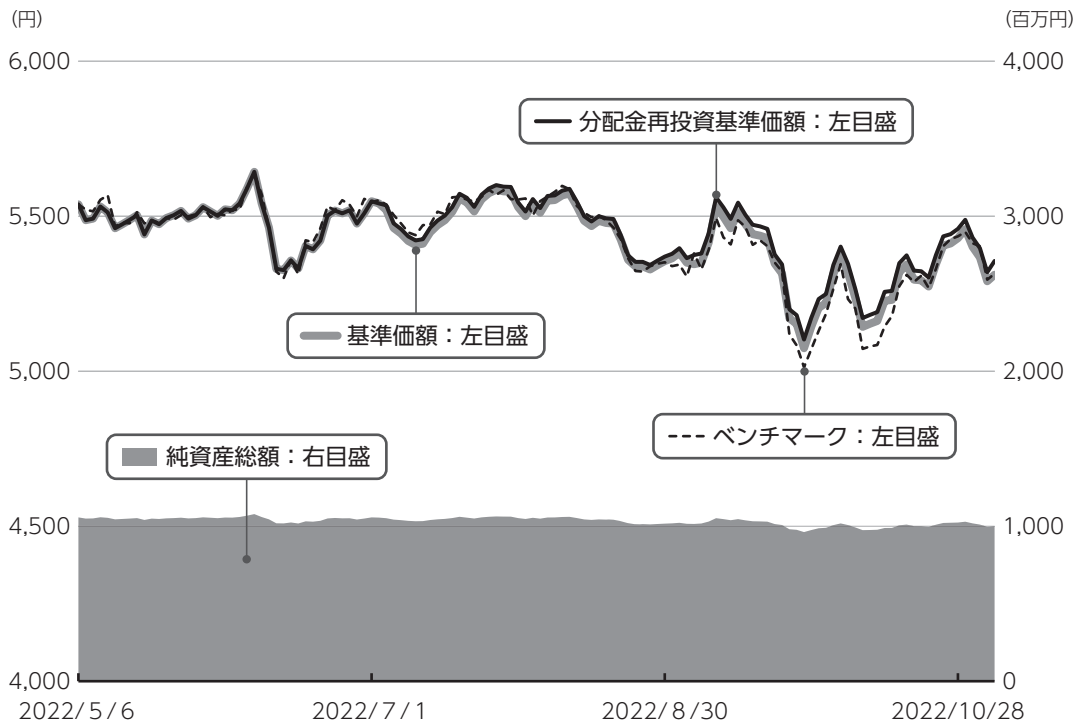
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第143期～第145期：2022年5月7日～2022年11月7日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第143期首	5,538円
第145期末	5,311円
既払分配金	45円
騰落率	-3.3%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は当作成期首に比べ3.3%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

**ベンチマークとの差異**

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-4.0%）を0.7%上回りました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

ユーロが対円で上昇したことや、債券利子収益を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

**下落要因**

欧州長期金利が上昇したことや信託報酬等のコストが、基準価額の下落要因になりました。

## 投資環境について

### ▶ 欧州債券市況

#### 欧州長期金利は上昇しました。

欧州長期金利は、複数の欧州中央銀行（ECB）高官が2022年9月末までのマイナス金利政策脱却を支持する発言を行い、金融政策正常化の前倒し観測が高まったことなどを背景に6月中旬にかけて上昇しました。その後、ロシアからの天然ガス供給に対する懸念などを背景に、景気後退懸念が高まったことなどから、欧州長期金利は7月末にかけて低下しました。その後の欧州長期金利は、ECBが9月理事会において今後複数回の理事会で利上げを継続する方針を示し、金融政策正常化の前倒し観測が高まったことなどを背景に上昇基調で推移し、作成期を通じてみると欧州長期金利は上昇しました。

### ▶ 為替市況

#### ユーロは対円で上昇しました。

ユーロは、ECBによる金融政策正常化の前倒し観測の高まりなどを背景に、2022年6月中旬にかけて対円で上昇基調で推移しました。その後、ロシアからの天然ガス供給に対する懸念などを背景に、景気後退懸念が高まったことなどから、ユーロは8月上旬にかけて対円で下落しました。その後は、日銀が緩和的な金融政策を維持する中、前記金融政策正常化の前倒し観測の高まりなどを背景にユーロは対円で上昇基調で推移し、作成期を通じてみるとユーロは対円で上昇しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ ユーロ・ソブリン・オープン

ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ちました。

### ▶ ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド

EU加盟国の国債・政府保証債、事業債等、信用度の高い公社債（A格以上）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。

### 国別資産配分

当作成期を通じて、相対的に高い金利水準にあるスペインなどをベンチマーク比オーバーウェイトで維持した一方、イタリアなどを非保有としました。

### デュレーション（金利感応度）

ファンド全体のデュレーションは、概ねベンチマーク比短めとしました。

#### ※デュレーション

「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

### 為替取引

作成期首は1.2%程度のノルウェークローネ買い、1.3%程度のユーロ売り、作成期末は0.5%程度のノルウェークローネ買い、1.3%程度のポーランドズロチ買い、3.9%程度のスウェーデンクローナ買い、5.6%程度のユーロ売りとしました。

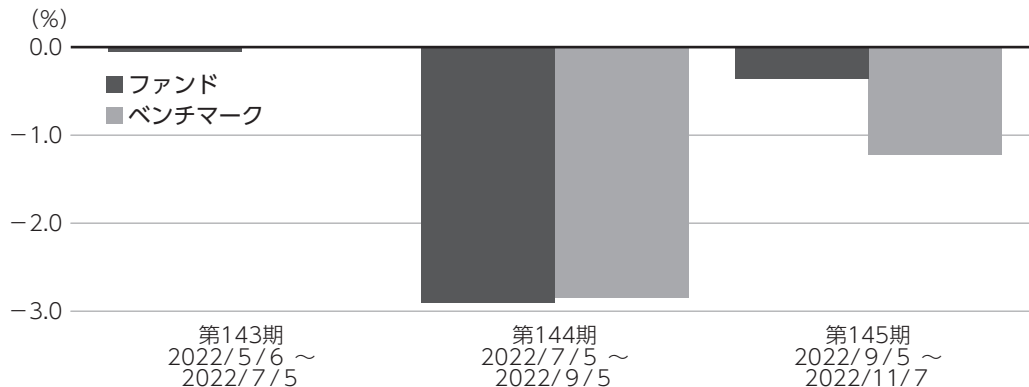
### 信用格付

信用度の高いA格以上の公社債を主要投資対象としています。

第143期～第145期：2022/5/7～2022/11/7

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### 基準価額（当ファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

### ▶ ユーロ・ソブリン・オープン

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-4.0%）を0.7%上回りました。

#### マザーファンド保有以外の要因

信託報酬などの運用管理費用がマイナスに影響しました。

#### マザーファンド保有による要因

作成期を通じてデュレーションを概ねベンチマーク比短めとしていたことや、財政規律への懸念の高まりから英国長期金利が相対的に大きく上昇したなか、作成期を通じて英国を非保有としたことなどがプラスに寄与しました。



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第143期 2022年5月7日～ 2022年7月5日	第144期 2022年7月6日～ 2022年9月5日	第145期 2022年9月6日～ 2022年11月7日
当期分配金（対基準価額比率）	<b>15</b> (0.271%)	<b>15</b> (0.280%)	<b>15</b> (0.282%)
当期の収益	—	—	—
当期の収益以外	15	15	15
翌期繰越分配対象額	344	329	314

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ ユーロ・ソブリン・オープン

引き続き、ユーロ・ソブリン・オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象として運用を行います。マザーファンドの組入比率を高位に保つ方針です。

### ▶ ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド

#### 国別資産配分

現行の方針を基本に、各国の景気動向や財政状況、政治動向、政策対応などを重視した国・銘柄選別に注力します。

ソブリン債以外では、事業債に関しては取り巻く環境等を勘案し、ウエイトを調整する方針です。

#### デュレーション

長期金利への影響が大きい景気その他の諸条件を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。

#### 為替取引

引き続き、今後の為替動向を見極め、機動的にポジションを構築していく方針です。

#### 信用格付

引き続き、投資環境を見極め、信用格付けの高い銘柄を中心に組み入れていく方針です。

2022年5月7日～2022年11月7日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第143期～第145期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	32	0.585	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(20)	(0.362)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(11)	(0.195)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.020	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.017)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	33	0.605	

作成期中の平均基準価額は、5,427円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

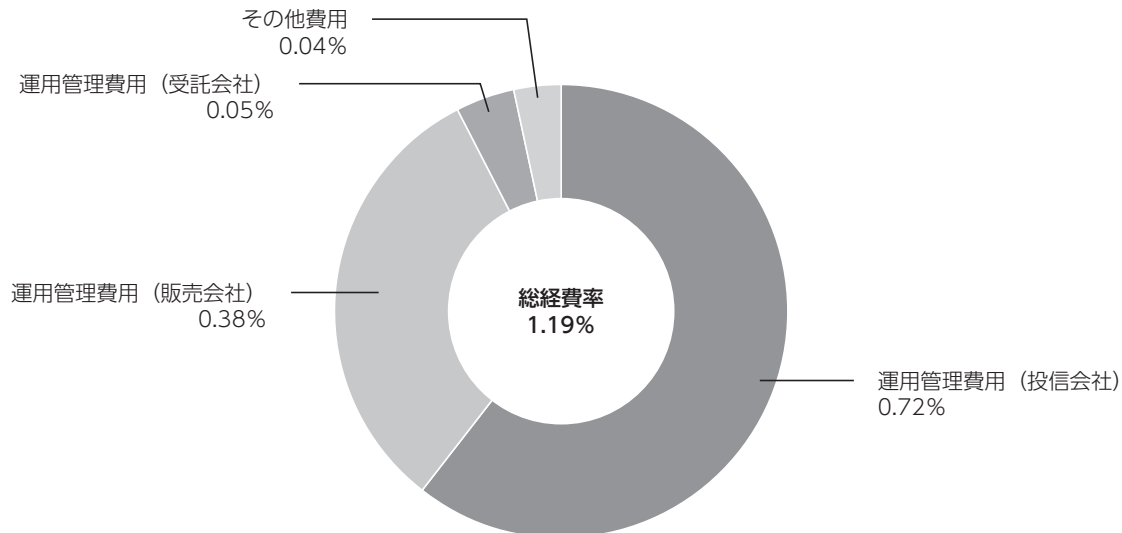
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.19%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年5月7日～2022年11月7日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第143期～第145期							
		設		定		解		約	
		口	数	金	額	口	数	金	額
ユーロ・ソブリン・オープン	マザーファンド		千口		千円		千口		千円
		8,583		19,609		20,934		47,614	

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年5月7日～2022年11月7日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;ユーロ・ソブリン・オープン&gt;

該当事項はございません。

&lt;ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド&gt;

区	分	第143期～第145期					
		買付額等			売付額等		
		A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
		百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引		534	309	57.9	533	309	58.0
為替直物取引		8	—	—	43	13	30.2

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2022年11月7日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	第142期末	第145期末		
		口	数	評	価
ユーロ・ソブリン・オープン	マザーファンド		千口		千円
		455,208		442,858	994,172

○投資信託財産の構成

(2022年11月7日現在)

項 目	第145期末	
	評 価 額	比 率
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド	千円 994,172	% 98.9
コール・ローン等、その他	10,637	1.1
投資信託財産総額	1,004,809	100.0

(注) ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (981,142千円) の投資信託財産総額 (995,689千円) に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ユーロ=146.05円	1 スウェーデンクローネ=13.45円	1 ポーランドズロチ=31.1286円
---------------	---------------------	---------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第143期末	第144期末	第145期末
	2022年7月5日現在	2022年9月5日現在	2022年11月7日現在
	円	円	円
(A) 資産	1,056,369,795	1,019,603,758	1,004,809,695
コール・ローン等	10,686,210	10,710,253	10,636,700
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド(評価額)	1,045,508,462	1,008,661,970	994,172,995
未収入金	175,123	231,535	—
(B) 負債	4,855,246	5,065,773	4,841,713
未払収益分配金	2,857,147	2,847,030	2,824,180
未払解約金	—	166,567	—
未払信託報酬	1,990,519	2,044,391	2,009,875
未払利息	19	19	18
その他未払費用	7,561	7,766	7,640
(C) 純資産総額(A-B)	1,051,514,549	1,014,537,985	999,967,982
元本	1,904,764,935	1,898,020,574	1,882,787,328
次期繰越損益金	△ 853,250,386	△ 883,482,589	△ 882,819,346
(D) 受益権総口数	1,904,764,935口	1,898,020,574口	1,882,787,328口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,520円	5,345円	5,311円

## ○損益の状況

項 目	第143期	第144期	第145期
	2022年5月7日～ 2022年7月5日	2022年7月6日～ 2022年9月5日	2022年9月6日～ 2022年11月7日
	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 450	△ 434	△ 429
支払利息	△ 450	△ 434	△ 429
(B) 有価証券売買損益	1,586,597	△ 28,358,780	△ 1,588,787
売買益	1,820,803	90,721	318,287
売買損	△ 234,206	△ 28,449,501	△ 1,907,074
(C) 信託報酬等	△ 1,998,080	△ 2,052,157	△ 2,017,515
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 411,933	△ 30,411,371	△ 3,606,731
(E) 前期繰越損益金	△298,978,609	△297,925,863	△324,966,204
(F) 追加信託差損益金	△551,002,697	△552,298,325	△551,422,231
(配当等相当額)	( 68,190,824)	( 65,293,858)	( 61,946,864)
(売買損益相当額)	(△619,193,521)	(△617,592,183)	(△613,369,095)
(G) 計 (D + E + F)	△850,393,239	△880,635,559	△879,995,166
(H) 収益分配金	△ 2,857,147	△ 2,847,030	△ 2,824,180
次期繰越損益金 (G + H)	△853,250,386	△883,482,589	△882,819,346
追加信託差損益金	△553,669,368	△555,145,355	△554,246,411
(配当等相当額)	( 65,525,864)	( 62,448,041)	( 59,124,289)
(売買損益相当額)	(△619,195,232)	(△617,593,396)	(△613,370,700)
分配準備積立金	5,689	10,934	19,023
繰越損益金	△299,586,707	△328,348,168	△328,591,958

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

①作成期首 (前作成期末) 元本額 1,908,266,064円

    作成期中追加設定元本額 12,632,936円

    作成期中一部解約元本額 38,111,672円

    また、1口当たり純資産額は、作成期末0.5311円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は882,819,346円です。

③分配金の計算過程

項 目	2022年5月7日～ 2022年7月5日	2022年7月6日～ 2022年9月5日	2022年9月6日～ 2022年11月7日
費用控除後の配当等収益額	－円	－円	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円
収益調整金額	68,192,535円	65,295,071円	61,948,469円
分配準備積立金額	196,165円	10,934円	19,023円
当ファンドの分配対象収益額	68,388,700円	65,306,005円	61,967,492円
1万口当たり収益分配対象額	359円	344円	329円
1万口当たり分配金額	15円	15円	15円
収益分配金金額	2,857,147円	2,847,030円	2,824,180円

## ○分配金のお知らせ

	第143期	第144期	第145期
1万円当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

### ◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。



## ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド

《第225期》決算日2022年6月6日      《第228期》決算日2022年9月5日  
 《第226期》決算日2022年7月5日      《第229期》決算日2022年10月5日  
 《第227期》決算日2022年8月5日      《第230期》決算日2022年11月7日

[計算期間：2022年5月7日～2022年11月7日]

「ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド」は、11月7日に第230期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第225期～第230期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	高水準かつ安定的なインカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	EU加盟国の信用度の高い（A格以上）公社債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は、制限を設けません。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE 欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	騰落率	騰落率	騰落率			
201期(2020年6月5日)	23,254	8.0	667.98	7.5	97.9	—	1,300
202期(2020年7月6日)	23,086	△0.7	664.58	△0.5	96.2	—	1,273
203期(2020年8月5日)	24,051	4.2	694.53	4.5	96.3	—	1,325
204期(2020年9月7日)	24,142	0.4	694.48	△0.0	97.1	—	1,317
205期(2020年10月5日)	23,911	△1.0	687.77	△1.0	97.2	—	1,306
206期(2020年11月5日)	23,853	△0.2	689.01	0.2	97.9	—	1,291
207期(2020年12月7日)	24,480	2.6	708.32	2.8	97.7	—	1,323
208期(2021年1月5日)	24,618	0.6	713.58	0.7	96.7	—	1,321
209期(2021年2月5日)	24,322	△1.2	705.74	△1.1	97.8	—	1,296
210期(2021年3月5日)	24,471	0.6	713.25	1.1	96.3	—	1,291
211期(2021年4月5日)	24,679	0.8	717.43	0.6	96.5	—	1,297
212期(2021年5月6日)	24,639	△0.2	715.38	△0.3	98.3	—	1,272
213期(2021年6月7日)	25,015	1.5	727.25	1.7	97.5	—	1,291
214期(2021年7月5日)	24,845	△0.7	724.03	△0.4	97.7	—	1,271
215期(2021年8月5日)	24,906	0.2	728.02	0.6	97.7	—	1,219
216期(2021年9月6日)	24,821	△0.3	723.09	△0.7	98.3	—	1,204
217期(2021年10月5日)	24,255	△2.3	705.51	△2.4	97.7	—	1,172
218期(2021年11月5日)	24,819	2.3	721.96	2.3	98.8	—	1,172
219期(2021年12月6日)	24,346	△1.9	711.29	△1.5	96.3	—	1,146
220期(2022年1月5日)	24,494	0.6	716.10	0.7	97.3	—	1,140
221期(2022年2月7日)	23,972	△2.1	698.48	△2.5	96.1	—	1,114
222期(2022年3月7日)	23,017	△4.0	675.95	△3.2	95.3	—	1,058
223期(2022年4月5日)	23,642	2.7	696.86	3.1	96.3	—	1,087
224期(2022年5月6日)	23,081	△2.4	674.84	△3.2	96.2	—	1,050
225期(2022年6月6日)	23,027	△0.2	672.62	△0.3	96.2	—	1,052
226期(2022年7月5日)	23,117	0.4	674.77	0.3	95.9	—	1,045
227期(2022年8月5日)	23,263	0.6	677.91	0.5	95.8	—	1,052
228期(2022年9月5日)	22,488	△3.3	655.57	△3.3	97.8	—	1,008
229期(2022年10月5日)	22,622	0.6	651.35	△0.6	97.7	—	1,014
230期(2022年11月7日)	22,449	△0.8	647.57	△0.6	96.2	—	994

(注) FTSE 欧州世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、欧州主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額比率で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		F T S E 欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第225期	(期 首) 2022年5月6日	円 23,081	% —	674.84	% —	% 96.2	% —
	5月末	23,063	△0.1	673.99	△0.1	96.2	—
	(期 末) 2022年6月6日	23,027	△0.2	672.62	△0.3	96.2	—
第226期	(期 首) 2022年6月6日	23,027	—	672.62	—	96.2	—
	6月末	23,000	△0.1	677.00	0.7	97.1	—
	(期 末) 2022年7月5日	23,117	0.4	674.77	0.3	95.9	—
第227期	(期 首) 2022年7月5日	23,117	—	674.77	—	95.9	—
	7月末	23,379	1.1	676.89	0.3	95.8	—
	(期 末) 2022年8月5日	23,263	0.6	677.91	0.5	95.8	—
第228期	(期 首) 2022年8月5日	23,263	—	677.91	—	95.8	—
	8月末	22,501	△3.3	650.56	△4.0	97.2	—
	(期 末) 2022年9月5日	22,488	△3.3	655.57	△3.3	97.8	—
第229期	(期 首) 2022年9月5日	22,488	—	655.57	—	97.8	—
	9月末	21,910	△2.6	625.13	△4.6	97.7	—
	(期 末) 2022年10月5日	22,622	0.6	651.35	△0.6	97.7	—
第230期	(期 首) 2022年10月5日	22,622	—	651.35	—	97.7	—
	10月末	23,003	1.7	664.03	1.9	96.6	—
	(期 末) 2022年11月7日	22,449	△0.8	647.57	△0.6	96.2	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### ●当作成期中の基準価額等の推移について

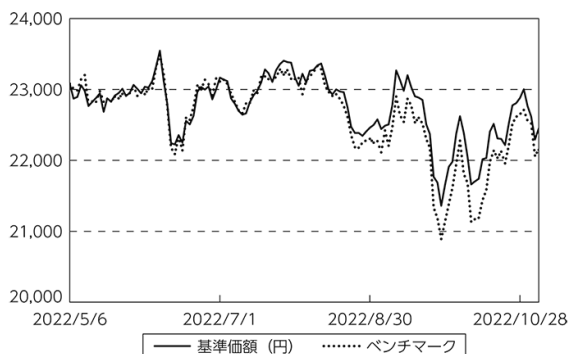
#### ◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.7%の下落となりました。

#### ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(−4.0%)を1.3%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは作成期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

### ●基準価額の変動要因

#### (上昇要因)

- ・ユーロが対円で上昇したことや、債券利子収益を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

#### (下落要因)

- ・欧州長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

### ●投資環境について

#### ◎欧州債券市況

- ・欧州長期金利は上昇しました。
- ・欧州長期金利は、複数の欧州中央銀行(ECB)高官が2022年9月末までのマイナス金利政策脱却を支持する発言を行い、金融政策正常化の前倒し観測が高まったことなどを背景に6月中旬にかけて上昇しました。その後、ロシアからの天然ガス供給に対する懸念などを背景に、景気後退懸念が高まったことなどから、欧州長期金利は7月末にかけて低下しました。その後の欧州長期金利は、ECBが9月理事会において今後複数回の理事会で利上げを継続する方針を示し、金融政策正常化の前倒し観測が高まったことなどを背景に上昇基調で推移し、作成期を通じてみると欧州長期金利は上昇しました。

#### ◎為替市況

- ・ユーロは対円で上昇しました。
- ・ユーロは、ECBによる金融政策正常化の前倒し観測の高まりなどを背景に、2022年6月中旬にかけて対円で上昇基調で推移しました。その後、ロシアからの天然ガス供給に対する懸念などを背景に、景気後退懸念が高まったことなどから、ユーロは8月上旬にかけて対円で下落しました。その後は、日銀が緩和的な金融政策を維持する中、前記金融政策正常化の前倒し観測の高まりなどを背景にユーロは対円で上昇基調で推移し、作成期を通じてみるとユーロは対円で上昇しました。

- 当該投資信託のポートフォリオについて
  - ・EU加盟国の国債・政府保証債、事業債等、信用度の高い公社債（A格以上）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。

#### ◎国別資産配分

- ・作成期を通じて、相対的に高い金利水準にあるスペインなどをベンチマーク比オーバーウェイトで維持した一方、イタリアなどを非保有としました。

#### ◎デュレーション（金利感応度）

- ・ファンド全体のデュレーションは、概ねベンチマーク比短めとしました。

##### ※デュレーション

「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

#### ◎為替取引

- ・作成期首は1.2%程度のノルウェークローネ買い、1.3%程度のユーロ売り、作成期末は0.5%程度のノルウェークローネ買い、1.3%程度のポーランドズロチ買い、3.9%程度のスウェーデンクローナ買い、5.6%程度のユーロ売りとしました。

#### ◎信用格付

- ・信用度の高いA格以上の公社債を主要投資対象としています。

- 当該投資信託のベンチマークとの差異について
  - ・基準価額は当作成期首に比べ、2.7%の下落となり、ベンチマークであるFTSE欧州世界国債インデックス（円ベース）の騰落率（-4.0%）を1.3%上回りました。

- ・作成期を通じてデュレーションを概ねベンチマーク比短めとしていたことや、財政規律への懸念の高まりから英国長期金利が相対的に大きく上昇したなか、作成期を通じて英国を非保有としたことなどがプラスに寄与しました。

#### ◎今後の運用方針

##### 国別資産配分

- ・現行の方針を基本に、各国の景気動向や財政状況、政治動向、政策対応などを重視した国・銘柄選別に注力します。
- ・ソブリン債以外では、事業債に関しては取り巻く環境等を勘案し、ウエイトを調整する方針です。

##### デュレーション

- ・長期金利への影響が大きい景気その他の諸条件を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。

##### 為替取引

- ・引き続き、今後の為替動向を見極め、機動的にポジションを構築していく方針です。

##### 信用格付

- ・引き続き、投資環境を見極め、信用格付けの高い銘柄を中心に組み入れていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 5 月 7 日～2022年11月 7 日)

項 目	第225期～第230期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
( 保 管 費 用 )	4	0.018	
( そ の 他 )	(4)	(0.017)	
( 合 計 )	(0)	(0.001)	
合 計	4	0.018	
作成期中の平均基準価額は、22,748円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2022年 5 月 7 日～2022年11月 7 日)

公 社 債

			第225期～第230期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	611	777
	フランス	国債証券	—	127
	オランダ	国債証券	358	—
	スペイン	国債証券	883	560
	オーストリア	国債証券	338	—
	フィンランド	国債証券	—	378
	アイルランド	国債証券	531	903
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ
		特殊債券	—	—
			(100)	

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年5月7日～2022年11月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	第225期～第230期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	534	309	57.9	533	309	58.0
為替直物取引	8	—	—	43	13	30.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年11月7日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第230期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	1,660	1,423	207,861	20.9	—	7.3	7.2	6.4
フランス	1,890	1,590	232,322	23.4	—	13.9	7.9	1.5
オランダ	900	794	115,985	11.7	—	8.9	2.8	—
スペイン	1,660	1,550	226,514	22.8	—	8.8	9.6	4.3
ベルギー	600	533	77,864	7.8	—	7.8	—	—
オーストリア	400	333	48,756	4.9	—	4.9	—	—
アイルランド	150	136	19,891	2.0	—	—	2.0	—
国際機関	100	90	13,254	1.3	—	1.3	—	—
スウェーデン	千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ						
	100	119	1,606	0.2	—	0.2	—	—
ポーランド	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ						
	550	408	12,714	1.3	—	0.1	1.2	—
合 計	—	—	956,772	96.2	—	53.3	30.7	12.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第230期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	0 BUND 520815	—	480	249	36,482	2052/8/15
		0 OBL 261009	—	530	487	71,239	2026/10/9
		0.2 SCHATS 240614	0.2	450	436	63,800	2024/6/14
		4.25 BUND 390704	4.25	100	124	18,144	2039/7/4
		4.75 BUND 340704	4.75	100	124	18,195	2034/7/4
フランス	国債証券	0 O. A. T 270225	—	600	541	79,032	2027/2/25
		0.75 O. A. T 280525	0.75	100	91	13,303	2028/5/25
		0.75 O. A. T 520525	0.75	150	83	12,208	2052/5/25
		1.25 O. A. T 340525	1.25	450	375	54,780	2034/5/25
		1.75 O. A. T 390625	1.75	200	166	24,361	2039/6/25
		2 O. A. T 480525	2.0	290	232	33,953	2048/5/25
	普通社債券	4.25 BPCE SA 230206	4.25	100	100	14,682	2023/2/6
オランダ	国債証券	0 NETH GOVT 310715	—	500	405	59,244	2031/7/15
		0.25 NETH GOVT 250715	0.25	200	190	27,759	2025/7/15
		2.5 NETH GOVT 330115	2.5	200	198	28,981	2033/1/15
スペイン	国債証券	0 SPAIN GOVT 240531	—	200	192	28,182	2024/5/31
		0 SPAIN GOVT 250531	—	150	140	20,561	2025/5/31
		1.2 SPAIN GOVT 401031	1.2	50	33	4,949	2040/10/31
		1.3 SPAIN GOVT 261031	1.3	540	514	75,074	2026/10/31
		1.45 SPAIN GOVT 290430	1.45	520	475	69,391	2029/4/30
		2.55 SPAIN GOVT 321031	2.55	100	93	13,625	2032/10/31
		2.75 SPAIN GOVT 241031	2.75	100	100	14,729	2024/10/31
ベルギー	国債証券	0.8 BEL GOVT 280622	0.8	300	273	39,947	2028/6/22
		1.6 BEL GOVT 470622	1.6	150	109	16,001	2047/6/22
		3 BEL GOVT 340622	3.0	150	150	21,914	2034/6/22
オーストリア	国債証券	0.9 AUSTRIA GOVT 320220	0.9	400	333	48,756	2032/2/20
アイルランド	国債証券	0.2 IRISH GOVT 270515	0.2	150	136	19,891	2027/5/15
国際機関	特殊債券	0.95 EFSF 280214	0.95	100	90	13,254	2028/2/14
小	計					942,450	
スウェーデン				千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ		
	国債証券	3.5 SWD GOVT 390330	3.5	100	119	1,606	2039/3/30
小	計					1,606	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	0.25 POLAND 261025	0.25	500	370	11,523	2026/10/25
		2.75 POLAND 280425	2.75	50	38	1,190	2028/4/25
小	計					12,714	
合	計					956,772	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。



○投資信託財産の構成

(2022年11月7日現在)

項 目	第230期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 956,772	% 96.1
コール・ローン等、その他	38,917	3.9
投資信託財産総額	995,689	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産 (981,142千円) の投資信託財産総額 (995,689千円) に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ユーロ=146.05円	1 スウェーデンクローネ=13.45円	1 ポーランドズロチ=31.1286円
---------------	---------------------	---------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第225期末	第226期末	第227期末	第228期末	第229期末	第230期末
	2022年6月6日現在	2022年7月5日現在	2022年8月5日現在	2022年9月5日現在	2022年10月5日現在	2022年11月7日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,107,949,688	1,158,696,477	1,121,127,323	1,125,729,769	1,129,172,296	1,104,301,431
コール・ローン等	34,817,233	22,542,587	40,051,015	18,808,344	19,751,982	31,992,846
公社債(評価額)	1,012,570,632	1,002,439,035	1,008,471,722	985,964,708	991,725,519	956,772,051
未収入金	55,761,462	130,778,410	69,588,211	116,975,409	112,742,852	111,237,769
未収利息	4,750,587	2,520,179	2,621,644	3,510,798	4,466,699	3,963,332
前払費用	35,216	401,517	380,600	456,066	470,340	320,270
差入委託証拠金	14,558	14,749	14,131	14,444	14,904	15,163
(B) 負債	55,848,321	113,167,190	68,248,357	117,089,500	114,367,164	110,127,312
未払金	55,710,701	112,992,043	68,175,482	116,857,954	113,651,122	110,127,291
未払解約金	137,603	175,123	72,851	231,535	716,018	—
未払利息	17	24	24	11	24	21
(C) 純資産総額(A-B)	1,052,101,367	1,045,529,287	1,052,878,966	1,008,640,269	1,014,805,132	994,174,119
元本	456,900,900	452,268,228	452,592,748	448,533,427	448,594,303	442,858,477
次期繰越損益金	595,200,467	593,261,059	600,286,218	560,106,842	566,210,829	551,315,642
(D) 受益権総口数	456,900,900口	452,268,228口	452,592,748口	448,533,427口	448,594,303口	442,858,477口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,027円	23,117円	23,263円	22,488円	22,622円	22,449円

○損益の状況

項 目	第225期	第226期	第227期	第228期	第229期	第230期
	2022年5月7日～ 2022年6月6日	2022年6月7日～ 2022年7月5日	2022年7月6日～ 2022年8月5日	2022年8月6日～ 2022年9月5日	2022年9月6日～ 2022年10月5日	2022年10月6日～ 2022年11月7日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	857,000	792,705	788,992	831,250	846,154	945,791
受取利息	867,091	807,327	801,346	831,979	846,962	946,603
支払利息	△ 10,091	△ 14,622	△ 12,354	△ 729	△ 808	△ 812
(B) 有価証券売買損益	△ 3,259,815	3,253,475	5,837,614	△ 35,883,022	5,269,815	△ 8,576,806
売買益	23,213,917	16,942,909	50,550,644	25,484,716	34,801,927	22,496,255
売買損	△ 26,473,732	△ 13,689,434	△ 44,713,030	△ 61,367,738	△ 29,532,112	△ 31,073,061
(C) 保管費用等	△ 68,511	△ 27,722	△ 5,940	△ 26,627	△ 20,704	△ 35,460
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,471,326	4,018,458	6,620,666	△ 35,078,399	6,095,265	△ 7,666,475
(E) 前期繰越損益金	595,452,397	595,200,467	593,261,059	600,286,218	560,106,842	566,210,829
(F) 追加信託差損益金	2,742,801	1,221,863	2,775,493	773,562	2,744,745	766,985
(G) 解約差損益金	△ 523,405	△ 7,179,729	△ 2,371,000	△ 5,874,539	△ 2,736,023	△ 7,995,697
(H) 計(D+E+F+G)	595,200,467	593,261,059	600,286,218	560,106,842	566,210,829	551,315,642
次期繰越損益金(H)	595,200,467	593,261,059	600,286,218	560,106,842	566,210,829	551,315,642

(注) (B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 455,208,811円  
 作成期中追加設定元本額 8,583,985円  
 作成期中一部解約元本額 20,934,319円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末2,2449円です。
- ②作成期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）  
 ユーロ・ソブリン・オープン 442,858,477円